

授業概要

発達心理学の基礎的理論を踏まえたうえで、胎児期から老年期に至る心身の発達及び学習の過程を理解する。さらにそれを促す指導についての基礎的な考え方の理解を深める。概ね、運動、認知、言語、情緒、社会性の側面を中心に講義するが、その中では、できるだけ新しい観点と話題を取り入れながら発達を規定する内的・外的諸要因を明らかにすることを試みる。発達・保育実践・学習支援等に関する身近な話題の中からアプローチしていくことにより、成長していく実際の子どもを自分なりの視点を持って指導できる基礎的な力をつけることを目指す。

授業計画

第1回	発達の定義
第2回	発達心理学の歴史
第3回	発達心理学の諸理論
第4回	発達心理学の研究法
第5回	身体と運動能力の発達
第6回	発達初期の子どもの能力
第7回	認知の発達
第8回	言語の発達
第9回	社会性・情緒の発達
第10回	乳幼児期の発達と保育実践
第11回	児童期の発達と学校教育・学習支援
第12回	子どもの発達を促す環境（グループディスカッション）
第13回	青年期の発達の課題と支援
第14回	成人期・老年期の発達の課題と支援
第15回	発達障害の理解と支援
第16回	筆記試験

到達目標

- 1 発達心理学の基礎的事項についての理解
- 2 運動、認知、言語、情緒、社会性の発達過程についての生涯発達の観点からの理解
- 3 子どもの発達を促す学習支援、学校教育・保育実践についての考察と理解
- 4 発達障害についての理解

履修上の注意

日頃から、子どもを見かけたらその様子をよく見てほしい。
指示された資料等は忘れずに持参すること。

予習・復習

予習・復習のためのレポートを課す場合がある。

評価方法

定期試験 70%、授業中に課す簡単な課題への回答 10%、レポート 10%、授業への参加態度 10%

テキスト

「発達心理学—保育者をめざす人へ—」石井正子編 樹村房
その他、必要に応じて適宜参考書を指示し、また資料を配布する。